

6月7日(月)・6月8日(火)



小学生は、床に伏せて、
中学生は、椅子に座って
体験しました。



地震体験車がやってきた！

町内の保育所・小中学校に、地震体験車（起震車）がやってきました。まずは、地震の揺れ方を知るために、過去に発生した地震を体験する形で東日本大震災の横揺れと、宮城県沖地震の縦揺れを体中で感じていました。

さらに、中学生は起震車で体験できる最大の揺れ、「震度7」までを体験していました。椅子から落ちないように、机にしっかりとつかまっていた。

今回は数十秒の体験でしたが、南海トラフ大地震は約3分揺れが続くという話を聞いて、地震の怖さを考えるきっかけになったようでした。



6月1週目



はみがき・栄養教室を開催！

町内の各保育所にて、「早ね早おき」「食事のバランス」「正しいはみがきとぶくぶくうがい」の大切さについてお話ししました。

子供たちは、保健師の読む紙芝居を真剣に聞きながら、考えたり、元気に答えたりすることができました。また、はみがきにチャレンジした後に、日頃から音楽に合わせて練習している、ぶくぶくうがいを披露してくれました。歯科衛生士の川村先生に、「みんな上手！」と褒めてもらいました。

寝る前の
「はみがき」
忘れてないかな？



音楽に合わせて
ぶくぶくうがい★

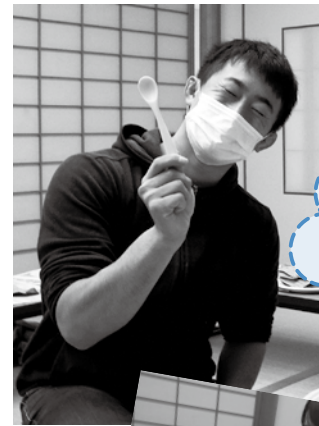


5月7日(金)



ファーストスプーンを作りました

5月のよちよちでは、大豊町の木を使って、ファーストスプーンづくりをしました。パパ・ママが一生懸命やすりがけをして、赤ちゃんが使えるスプーンを作ってくれました。なかなかパワーと根気のいる作業でしたが、納得のいくスプーンができました。作業中、赤ちゃんたちは隣の部屋で保健師に見守られ、赤ちゃん同士で遊んだり、ママの応援をしたり、ぐっすり寝たりと、楽しく過ごしてくれました。
★この事業は県内で寄付いただいた「緑の募金」を活用して実施しました。



満足の出来映えに
っこにこ★



5月14日(金)



田植え体験をしました

小学校5年生は、1年を通して大豊町の農業の勉強をしています。今回は、町内の田んぼを借りて、みんなで稲の手植えをしました。田んぼの泥に足をとられながらも、等間隔で稲を植えるように頑張りました。

疲れてくると、植付ける稲の本数が多くなってきたり、稲が植わっていない場所が目立つようになってきたり、先生や友達同士でチェックをしながら、全ての稲を植えることができました。秋に、このお米を収穫するのが楽しみです。

足跡でぼこぼこも
手植えを頑張った証！

